

里親学生支援室だより NO. 26



2023/3/14 (火)

発行日: 2023/4/19 発行元: 里親学生支援室

大津市・湖南地域方面での宿泊研修(日帰り)を実施しました!

「大津市・湖南地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月14日(火)の春期休暇期間を利用して、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターと協同で宿泊研修を実施しました。今回も日帰りで実施し、本学学生11名(医学生9名、看護学生2名)と滋賀県立大学人間看護学部生2名が参加しました。

びわこ学園医療福祉センター草津

逸見看護部長より施設の概要について説明を受けました。その後、2班に分かれて、施設見学を行っていただきました。



個人に寄り添い、尊重する姿勢を大切にされていることを肌で感じることができました。
医学科 第3学年



実際のケアの様子を拝見でき、重症心身障害者のための施設という特殊な環境下で医療従事者が持つべき心構えや気遣いを学べました。看護学科 第1学年

琵琶湖病院

石田院長の挨拶のあと、稲垣恵春期青年期治療部長から病院の概要について説明を受けました。また、高野看護部長より看護の現場のお話しをしていただきました。本学卒業生の榎本医師(専攻医)もご参加いただき、学生からの質問に熱心に答えていただきました。



精神科病棟という、講義では知ることのない世界を知ることができました。すぐに壊れてしまうカーテンや、強化ガラス窓などの特徴は興味深いものがありました。また、精神科の患者に対応するにおいて、医療者側が安心・健康であることの重要性を説いてくださったのが印象的でした。
医学科 第3学年



精神福祉士の仕事についても知ることができました。チーム医療がどの現場でも重要なので、他の職種について理解することができるのも貴重な体験だと思います。
人間看護学部 3回生



市立大津市民病院

水野事務局長から病院の概要や大津市の医療の在り方などについて説明いただきました。また病院の働き方改革についてもお話いただき、その後、レポートや病院見学を行っていただきました。



感染症指定病院としてコロナ禍当初から多くの患者を担当した大津市民病院の内部からの視点を知れたことは、非常に刺激になった。
医学科 第1学年

県庁所在地である大津市は、京都の県庁所在地である京都市と隣接しています。政令指定都市のすぐそばにある都市の中で、中核病院がどういった役割を果たしているのか、また、地域の人たちが求めているニーズを間接的に学ぶことができました。医学科 第2学年

◆勉強会◆ A 講義室 (Zoom 配信) 17:15~17:45 講演・意見交換等

講演: 『地域における市立大津市民の役割』
市立大津市民病院
感染症科診療部長 辻 桂嗣 氏

17:45~18:15 意見交換会



近江神宮

かるたの聖地と呼ばれている近江神宮を参拝しました。色鮮やかな楼門や、近代神社建築などの説明を聞きながら、普段と違った角度から見ることができ、お参りすることができました。



滋賀県出身でも意外と知らなかったことを学ぶことができました。医学科 第3学年

滋賀県内の名所を見て回ることもできたのも貴重な経験になりました。今回の宿泊研修を通じて更に滋賀県についての見識を深められたと思います。医学科 第2学年

～昼食～



研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!

里親学生支援のホームページ
(<http://www.shiga-med.ac.jp/~satooya/>)をご覧ください!